

特選講師情報

リストNo 14282

2024/07

講師派遣の **ブレンバンク** 株式会社

〒530-0055

大阪市北区野崎町6-7大阪北野ビル

TEL:06-6315-7591 FAX:06-6315-0506

担当者：大瀬 恵美

●講演会をする場合は

- ①講演時間は、標準90分です。
- ②講演企画料は、源泉税込み(単位万円)です。
- ③講演企画料には、消費税が別途必要です。
- ④実施の場合は、旅費(交通費・宿泊費)が必要です。
- ⑤※印は、旅費2名分が必要です。

■ 講師陣 (敬称略)



講演料： **D-E**
BEST9

元・総務大臣秘書官 テレビの露出度とともに依頼数も急増中！

● 日本を変える～経済政策、政府の問題点

岸 博幸

慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科教授

1962年生まれ。東京都出身。一橋大学経済学部卒業、コロンビア大学ビジネススクール卒業。1986年通商産業省(現経済産業省)に入省し、産業政策、IT政策、通商政策、エネルギー政策などを担当。経済財政政策担当大臣、総務大臣などの政務秘書官を歴任し、不良債権処理、郵政民営化などの構造改革を主導。エイバック取締役、ポリシーウォッチ・ジャパン取締役などを兼任。2021年7月内閣官房参与に任命される。著書に『ネット帝国主義と日本の敗北』『アップル、アマゾンが日本を蝕む』など。近著に『オリンピック恐慌』(幻冬舎・2018年1月)がある。

- (他のテーマ) ・ 日本を変える～時代が求める新しい成長産業のカタチ
・ 日本経済のこれからを知る、中小企業に必要なDX戦略とイノベーション創出



講演料： **B**
BEST9

データに基づいたわかりやすい解説が好評

● 今後の物価の動きと景気の見通し

永濱 利廣

第一生命経済研究所 首席エコノミスト

1971年栃木県生まれ。95年早稲田大学理工学部卒業。2005年東京大学大学院経済学研究科修士課程修了。1995年第一生命保険入社。98年4月より日本経済研究センター出向。2000年4月より第一生命経済研究所経済調査部副主任研究員、04年4月より同主任エコノミストを経て、08年4月より現職。著書「エコノミストが教える経済指標の本当の使い方」「面白くてよくわかる経済」など多数。新聞・雑誌などの経済コラムの執筆、コメンテーターとしてテレビ出演でも活躍。

- (他のテーマ) ・ 日本経済の展望を読み解く
・



講演料： **B**
BEST9

元外務事務次官が当時の経験からの教訓も交えながら日米や世界の情勢を読み解く

● 緊迫の国際情勢と日本の針路

藪中 三十二

大阪大学特任教授／(元)外務事務次官

1948年大阪府生まれ。1969年外務省入省、韓国、インドネシア、米国にて在外公館勤務。87年北米局北米第二課長(日米経済摩擦担当)、90年国際戦略2275研究所(ロンドン)主任研究員。91年在ジュネーブ国際機関日本政府代表部公使。95年大阪大学特任教授。98年在シカゴ日本国総領事館総領事。2002年アジア大洋州局長(六者協議首席代表)。05年外務審議官(経済担当・G8サミット・シエルバ)。07年外務審議官(政務担当)。08年外務事務次官に就任。10年外務省退官。主な著書に『トランプ時代の日米新ルール』『世界に負けない日本』などがある。

- (他のテーマ) ・ 国際社会の中の日本、その課題と展望
・ 世界に負けない日本～国家と日本人が今なすべきこと



講演料： **B**
BEST9

「世界一受けたい授業」「坂上&指原のつぶれない店」などに出演

● こんなにすごい！日本のモノづくり！

～生き残りの道はココにある

中村 智彦

神戸国際大学経済学部教授

1964年生まれ。上智大学卒業後、タイ国際航空、PHP総合研究所を経て、大阪府立産業開発研究所国際調査室研究員として勤務。2000年名古屋大学大学院国際開発研究科博士課程を修了(学術博士号取得)。その後、日本福祉大学経済学部助教授を経て、現職。愛知県愛知ブランド審査委員、山形県川西町総合計画アドバイザー、東京都北区産業活性化ビジョン検討委員会副委員長など自治体や団体の役職を務める。2017年4月からヤフーニュースオーサーとして記事を執筆。11月には「月間MVA(Most Valuable Article)」を受賞。毎日新聞ウェブ版「経済プレミア」にも連載中。

- (他のテーマ) ・ 地域経済の活気ある明るい未来の実現に向けて
・ 中小製造業の生き残り戦略 ～今、経営者がすべきこと

■ 講師陣 (敬称略)



講演料： B
BEST9

地方発の隠れた実力商品、ヒット商品、或いは残念な結果に終わった商品から教訓を読み取

● **トレンドが教える ビジネスのヒント**

北村 森

商品ジャーナリスト(元・日経トレンディ編集長)

1966年富山県出身。慶応大学法学部卒業。92年日経ホーム出版社入社、「日経トレンディ」等で記事執筆。00年「日経おとなのOFF」企画立案、創刊に携わる。05年日経トレンディ編集長。08年同社退職。09年幻冬舎入社し、「ケーテ」副編集長、「ウェブケーテ」編集長。10年同社退職。商品ジャーナリストとして活動。国内外のホテル、旅館、飲食店の覆面チェックを長年担当するなど、各種製品・サービスを一貫して手掛ける。ABC/TV朝日系列「ヒットの泉」コメンテーターをはじめ、TV・ラジオ出演多数。共著に『ヒット商品航海記』日本経済新聞出版社。

(他のテーマ) ・ ヒット商品に学ぶ『モノが売れない時代』の商品アピール術！～売上を伸ばす！地方企業のブランド戦略
・ 地方発ヒット商品に学ぶ売れる商品、サービス、売り方とは



講演料： B
BEST9

全ての現場をディスプレイやUSJのようなワクワクする価値を創り出す組織、人材、場へ！

● **「えっ！人財育成には優先順位があったのか?!」**

自ら考え、分析し、行動から成果を創り出す自律型人財の育て方

今井 千尋

2大テーマパーク 人材育成・人材開発トレーナー

榎川エンタテインメントへ入社。東京ディスプレイ開業時には自社内導入研修講師として数千名の研修を実施。その後、合同会社ユー・エス・ジェイへ転職。森岡毅氏がマーケティング本部長時代、直下プロジェクトであるゲストサービス向上施策にも立ち上げメンバーとして参画。各部門及び全社的なCS向上、CS人財を育成。企業内大学の創設に一貫して携わる等、USJのV字回復期に人財育成・人材開発の側面から支えてきた。2019年より人財育成・人材開発コンサルティング会社を設立。独自のコンテンツは好評。SHIBUYA QWS コモンズにも就任し、スタートアップ企業～大手企業まで人材育成、人材開発分野の有識者として貢献している。

(他のテーマ) ・ テーマパークで学び身につけた成果を出し続ける自律型人材体験学習～顧客が求める私たちを徹
・ お客様の心を掴み「ホト」を呼ぶ涉外顧客育成術！"CS育成のプロ"が伝える「顧客感動」を引き出す



講演料： B
BEST9

数少ない女性人工知能研究者の一人で『感情を持つ人工知能』研究の第一人者

● **人の感性に寄り添うAIが生み出す社会の多様性**

AI・IoT がもたらす企業活動や市民生活のイノベーション

坂本 真樹

人工知能学者・電気通信大学副学長

1969年北海道出身。東京外国語大学ドイツ語学科卒業。2000年東京大学大学院総合文化研究科言語情報科学専攻博士号取得。東京大学助手、電通大講師、助教授、准教授、大学院准教授を経て、15年教授。16年より人工知能先端研究センター教授を兼務。国際会議でのベストアプリケーション賞・人工知能学会論文賞など多数受賞。オノマトペや五感や感性・感情といった人の言語・心理などについての文系的な現象を、理工系的観点から分析し、人工知能に搭載。著書『女度を上げるオノマトペの法則』などがあり、テレビ、ラジオ出演、新聞、雑誌の執筆、講演などで多忙中。

(他のテーマ) ・ 人工知能(AI)でビジネスはどう変わる？ ～売れる商品名は計算で解明できる！？
・ 感性AIによるマーケティングの可能性



講演料： B
BEST9

オール一本勝ちで五輪2連覇達成！<60分講演+質疑応答>

● **金メダリストの思考回路**

谷本 歩実

女子柔道 アテネ・北京オリンピック金メダリスト/JOCオリンピック委員会理事

1981年生まれ、愛知県出身。筑波大学卒業後、コマツ入社。女子柔道63キログラム級、アテネ・北京オリンピックで金メダルを獲得。大会史上初となるオール一本勝ちでの連覇となった。2010年引退後はコマツ柔道部のコーチを務める傍ら、栄養士の免許を取得。2013年3月から2年間JOC海外指導者研修でフランスへ留学し、現在、全日本柔道女子チームの特別コーチや、2020年東京オリンピック・パラリンピック組織委員会理事を務める。一児のママとしても活躍中。

(他のテーマ) ・ 私の柔道人生
・ (ご希望に応じます)



講演料： C
BEST9

藤井聡太氏の師匠

● **師匠が語る 弟子・藤井聡太という才能**

杉本 昌隆

棋士

1968年 愛知県名古屋生まれ。80年11才で故・板谷進 九段 門下入り。90年四段に昇段し、プロデビューを果たす。06年に七段昇段。08年にはNHK将棋講座の講師を務める。19年には八段に昇段。2019年3月、第77期C級1組順位戦で9勝1敗の好成績でB級2組へ復帰昇級。50代の棋士の昇級は将棋界では13年ぶり。Bクラスへの復帰者は棋界で30年ぶり。「中年の星」と称される。トーナメントプロであると同時に執筆活動、テレビ出演、講演等もこなす。門下に藤井聡太竜王・名人、室田伊緒女流二段らがいる。将棋の戦術書の著作は20冊以上。

(他のテーマ) ・ ～将棋界における上司部下の関係～
・ ～将棋界における若い世代との接し方～

■ 講師陣 (敬称略)



講演料: B

● これからの時代に求められる金融リテラシーとは

森永 康平

株式会社マネネCEO / 経済アナリスト

証券会社や運用会社にてアナリスト、ストラテジストとして日本の中小型株式や新興国経済の研究業務に従事。業務範囲は海外に広がり、インドネシア、台湾などアジア各国にて新規事業の立上げや法人設立を経験し事業責任者やCEOを歴任。2018年に金融教育ベンチャーの(株)マネネを設立。経済アナリストとして執筆や講演をしながら、AIベンチャーのCFOも兼任するなど、国内外複数のベンチャー企業経営にも参画。著書は『スタグフレーションの時代』(宝島社新書)や父・森永卓郎との共著『親子ゼニ問答』(角川新書)など多数。日本証券アナリスト協会検定会員。経済産業省「物価高における流通業のあり方検討会」委員。文化放送「おはよう寺ちゃん」レギュラーコメンテーター。
(他のテーマ) ・ 激動の時代、どうなる日本経済の展望
・ 金融教育の新展開と老後に向けた資産形成ガイド



講演料: B

● ロシアと中国 反米戦略

廣瀬 陽子

慶應義塾大学総合政策学部教授

慶應義塾大学総合政策学部卒業。東京大学大学院法学政治学研究科修士課程修了・同博士課程単位取得退学。政策・メディア博士(慶應義塾大学)。2016年より現職。国家安全保障局顧問(2018~20年)など、政府の委員等も数多く歴任。専門は国際政治、旧ソ連地域研究。著書に、『コーカサス 国際関係の十字路口』(2008年、集英社新書)でアジア・太平洋賞特別賞受賞)、『ハイブリッド戦争』(2021年、講談社新書)、『未承認国家と覇権なき世界』(2014年、NHKブックス)など多数。長年の旧ソ連研究によりニュース解説など、メディア出演も多数。
(他のテーマ) ・ ハイブリッド戦争と世界の脅威~ウクライナ危機を事例に~
・ ウクライナ危機の深層~ハイブリッド戦争の脅威と世界経済への影響~



講演料: C

● これからの日本の行方

石川 和男

社会保障経済研究所代表

1965年生まれ。1989年東京大学工学部卒、通商産業省(現経済産業省)入省。石炭、電力・都市ガスなどエネルギー政策、LPガス・高圧ガス・石油コンビナートなど産業保安政策、産業金融、割賦販売・消費者信用、中小企業、行政改革など各般の政策に従事し、2007年退官。2008年、内閣官房企画官。規制改革会議WG委員、専修大学客員教授、政策研究大学院大学客員教授、東京財団上席研究員などを歴任。著書に「原発の正しい「やめさせ方」」(PHP新書)、「多重債務者を救え!貸金業市場健全化への処方箋」(PHP研究所)、共著に「日本版サブプライム危機 住宅ローン破綻から始まる「過重債務」」(ソフトバンク新書)など。
(他のテーマ) ・ ますます進む高齢社会化と、日本の行方
・ 地球温暖化と私たちの未来



講演料: B

地域経済の活性化と中小企業への期待

● 次世代日本型イノベーションと産業創出

三神 万里子

ジャーナリスト

長野県出身。日本文藝家協会会員。慶應義塾大学環境情報学部卒業。大学卒業当初より独立し国内外で取材・執筆。海外事例と国内地方都市を同時に追い、社会経済システムの変化と対応策を主に扱う。米国Time,Inc経済誌執筆論考は世界銀行政策研究誌参考文献に掲載されている。著書に、『メガバンク決算 日・米・欧、どこが違うのか』(「週刊東洋経済」ベスト経済書100)16位)、『パラサイト・ミドルの衝撃』等がある。経済産業省、総務省にて審議委員、有識者会議委員のほか、地方自治体等にて公職多数。並行して信州大学経営大学院客員准教授を経て京都大学経営管理大学院、カイロ大学政治経済学部等で講師を務め、NHK経済番組でメインキャスターとして解説を担当。
(他のテーマ) ・ 日本型『ものづくり』の世界の中での位置づけと人材育成に求められる今後の競争力
・ 次世代産業 創出と地域経済活性化を考える



講演料: B~C

● IoTが生活・ビジネスを変える『DX・デジタルトランスフォーメーション』

三上 洋

ITジャーナリスト / ライター

東京都世田谷区出身、1965年生まれ。東洋大学社会学部卒業。テレビ番組制作会社を経て、1995年からフリーライター・ITジャーナリストとして活動。専門ジャンルは、セキュリティ、ネット事件、スマートフォン、Ustreamなどのネット動画、携帯料金・クレジットカードポイント。毎週月曜よる9時に、ライブメディア情報番組「UstToday」制作・配信。Ustream配信請負、ネット動画での企業活用のコンサルも行なう。メディア出演も多数あり。

(他のテーマ) ・ 対話型AI・生成型AIなど人工知能の現在と未来
・ セキュリティ(ネット事件、詐欺などへの安全対策)

■ 講師陣 (敬称略)



講演料： B

元ソニー(株)の女性エジソン！世界に誇る日本デジカメ「電子シャッター」の生みの親！

● 隠れたチャンピオン企業

～今こそ見せる！世界が認める日本の中小企業の底力

石川 耀弓

株式会社ダヴィンチ・ブレインズ社長／東洋大学理工学部非常勤講

技術を通じて夢と感動と勇気を伝えられる人間を目指して、慶應義塾大学大学院を修了後、1982年に女性修士エンジニアの第1号としてソニー(株)に入社。CCDイメージセンサ、CCDカメラの開発・設計に従事。デジカメの電子シャッター特許で全国発明表彰受賞、社内特許表彰の最高位『特級表彰』を2回受賞。やがて、技術をビジネスに変える仕組み作りの技術経営者に転身。東京工科大学大学院でアントレプレナー修士を取得。「カーブア外の研究』でアントレプレナー賞を受賞。モノづくりに限らず、製販一体の体制を整えるために、感性マーケティングを実践。ウェブショップもオープンし、店舗展開を準備中。

- (他のテーマ) ・ 女性エジソンが伝授する人財育成法～脳科学が生み出すできる社員の育て方
・ 自然から学ぶ科学とモノづくり～38億年の地球の叢智に学び、競争から共創の世界へ



講演料： B

● 超・人手不足時代に適応する～人材とテクノロジーの共存

永島 寛之

元)ニトリホールディングス 理事/組織開発室室長／好奇心研究者

1998年早稲田大学商学部卒業、東レ(株)入社。'07年ソニー(株)入社。欧州向けマーケティング担当。'11年米国ソニーラテアムカーマーケティングディレクター。'13年(株)ニトリ入社。店舗管理、人材採用・教育に従事(新卒採用で成果を上げる)。'22年(株)ニトリ執行役地政学員CHRO就任。'23年トイトイ合同会社設立。現在、複数の企業経営者の元で、「個人の成長」を起点とした未来組織開発を支援。

- (他のテーマ) ・ 組織改革の進め方～改革は“組織の肩凝り”をほぐせば前に進む
・ 自律型人材を生み出す方法～個人の成長を促す社内環境づくり



講演料： B～C

● 私がハーバードで学んだ世界最高の「考える力」

廣津留 すみれ

バイオリニスト

大分市出身のバイオリニスト。12歳で九州交響楽団と共演、高校在学中にNY・カーネギーホールにてソロデビュー。ハーバード大学(学士課程)卒業、ジュリアード音楽院(修士課程)修了。ニューヨークで音楽コンサルティング会社を起業。2021年パラリンピック公式ゲーム"Pegasus Dream Tour"のテーマ曲を担当。ギル・シャムとThe Knightsのメンバーとして共演した最新アルバムがグラミー賞2022にノミネート。近年は『奇跡体験！アンビリバボー』(フジテレビ系)『サンデー・ジャポン』(TBS)『題名のない音楽会』(テレビ朝日)などのスタジオ演奏でも話題に。テレビ朝日『羽鳥慎一モーニングショー』金曜コメンテーター。

- (他のテーマ) ・ 幼少期～大学生活の超・独学術とやりたいことの見つけ方
・ 未来をデザインする ～コロナ禍でも成長できる、新しい働き方



講演料： D

28年ぶりに全日本女子バレーに五輪メダルを獲得させた監督

● 逆転発想の勝利学

眞鍋 政義

バレーボール女子日本代表監督/ヴィクトリーナ姫路GM

1963年8月。兵庫県姫路市出身。日本人で初めてイタリアのプロリーグ、セリエAのイベコパレルモの選手として活躍。監督就任後の世界選手権では、試合中iPadで選手に指示し、自らが掲げる「IDバレー」でチームを采配。日本は32年ぶりに銅メダルを獲得した。2012年のロンドン五輪には、相手のデータ分析をかく乱するため、選手12人中10人の背番号を変更して臨み、28年ぶりに日本は銅メダルを獲得。2016年リオデジャネイロ五輪後に代表監督を退任、同年12月ヴィクトリーナ姫路ゼネラルマネージャー就任。'19年取締役球団オーナー。'21年バレーボール女子日本代表監督に復帰。'22年ヴィクトリーナ姫路取締役球団オーナー辞任。

- (他のテーマ) ・ カリスマじゃなくてもできる、組織を変える戦略
・ 世界一への挑戦



講演料： A

● 企業はメンタルとどう向き合うか

尾林 誉史

精神科医・産業医/VISION PARTNERメンタルクリニック四谷院長

1975年東京生まれ。東京大学理学部科学科卒業後、株式会社リクルートに入社。リクルート時代、社内外や年次を問わず発生するメンタル問題に多数遭遇、解決に向けて付き添う中で目にした産業医の現状に落胆するも、とあるクリニックの精神科医の働き方に感銘を受ける。2006年産業医を志し退職。その後、弘前大学医学部に学士編入。東京都立松沢病院にて臨床初期研修修了後、東京大学医学部附属病院精神神経科に所属。現在、note、面白法人カヤック、ジモティーなど20社弱の企業にて、産業医及びカウンセリング業務を務めるほか、メディアでも積極的に発信を行っている。

- (他のテーマ) ・ がんばらない めんどくさくない人間関係を築くコツ
・ 元サラリーマンの精神科医が教える 働く人のためのメンタルヘルス術